

令和7年度 第3回学校運営協議会報告

開催日時	令和8年2月24日(火) 16:00~17:00 於 白石高校商業科キャンパス会議室				
出席者数	委員9 事務局4名				
出席者氏名	委員：江口、内野、中山、鴨川、山口、酒井、大串、野見山、野村 事務局：藤崎、江口、塚本、谷口				
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 学校への要望 (2) 来年度の体制について 4 閉会				
議事録					
3 議事					
(1) 学校への要望（「総合的な探究の時間」成果発表会の感想含む）					
委員1：探究が進路選択に結びついた例があるとのことで、普通科・商業科ともに良い発展を感じた。今日の発表会は内容の質も高く、学校の魅力として外部発信すべきと思う。特に小中学生に生徒の姿を見せることが効果的で、動画掲載やSNS発信、発表会招待が生徒募集に有効だと考える。					
委員2：発表会は学校の個性がよく表れており、外部発信が不可欠と考える。ホームページ掲載は必須。学校の情報、QRコード付きチラシや出前講座など、手軽に見てもらえる仕組みが必要。生徒の姿を見せることが志願者増に繋がる。地域ボランティアでの生徒の活躍もPR効果が高い。					
委員3：生徒の活動は良いが発信不足が課題。若い世代には動画が有効で、SNS・YouTube・TikTokでの発信を是非お願いしたい。生徒の協力を得て制作すれば、若い世代に魅力が伝わりやすい。アンケートを見るとキャンパス制への不満が多いが、顔を合わせる機会を増やすことで改善できることもあるだろう。					
委員4：修学旅行時のホームページ更新は、保護者の安心に繋がった。今後はInstagram発信も期待する。					
委員5：キャンパス制は教育活動や部活動の弊害として生徒・保護者の不満も大きいようだが、逆にそれぞれの地域と各キャンパスが連携しやすいかもしれない。地域と学校はお互いの発展のため協力する必要があるが、生徒の地域探究は行政へあらゆる働きかけをするときの強い材料になる。地域活性化の観点からも連携強化を求める。					
委員6：須古地区と生徒の関わりが双方に良い影響を与えていることを知ることができた。六角地区も生徒の力を借り、生徒の力になるような企画を考えたい。					
委員7：小中高の交流が少ない現状があるため、町として連携の機会を作りたいと思う。学校評価アンケートを見ると、保護者のホームページ閲覧率が低いようだ。メールでURLを送るなど、アクセスを促す工夫が必要と感じる。また、生徒が発信に関わることで閲覧者増も期待できると思う。					
委員2：3町が集まる機会というのは稀なことで、学校運営協議会は非常に貴重な機会である。学校は今後もこの場を積極的に活用してほしい。					
委員5：生徒の探究はビジネス化の可能性もあり、進路にも活かせる内容だった。地域との関わりは興味関心を生み、将来の仕事や地域貢献につながることもある。課題に目を向けさせようとする仕組みが必要。					
議長：情報発信の強化と多世代交流が重要。中学生・保護者に届く仕組みを整えつつ、教員の負担を減らす形で発信すべき。ウェブ上に学校の情報を載せることは中学生の進路選択にも有効。白高生に活躍いただいている地域イベントでは、高校生と小中学生の交流によって双方が大きく成長している。白石高校は3町と接点がある強みがある。地域と学校が協力すれば可能性は大きく広がる。学校の魅力化は学校だけでなく地域の責任でもあるため、3町と学校は会合を開き、連携を深めるべき。					
校長：地域連携探究を学校の魅力として発信していきたいと考えている。探究テーマが見つからない生徒も多く、地域との関わりが課題発見に繋がるよう、単なる体験で終わらず、課題発見まで導く支援を地域の皆様にはお願いしたい。					
(2)来年度の体制について					
校長：カリキュラムポリシーを改訂し、教育課程内での学習の充実を、より明確に示す文言に変更したい。意見があれば連絡してほしい。					
事後措置	朝礼時報告	<input type="radio"/>	職員会議にて報告	<input type="checkbox"/>	校内LANにて広報
	その他（学校HPに掲載）				